

様式07 実施報告書

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	主催団体	行事形式(※)	行事名
F009	中部放送技術フォーラム協議会	④	第34回中部放送技術フォーラム
開催日	開催場所	行事参加人数	Webサイト・URL
5月14日～ 5月15日	NHK名古屋放送センタービル9F 901会議室、902会議室	426	https://chubu-hoso-forum.jp/

行事実施概要・アピール等

2025年5月14日（水）、15日（木）の2日間、「第34回中部放送技術フォーラム」を開催した。NHKと民間放送事業者が共同で行う本フォーラムは、東海北陸地域の31の放送事業者が参加している。今年度はNHK名古屋放送センタービルの901会議室をMicrosoft Teamsで接続し、対面とオンラインのハイブリッド方式で実施した。また、同ビルの902会議室で実機展示を行い、その模様をMicrosoft Teamsで配信した。Teamsオンラインでは参加に制限を設けず、フォーラム協議会加盟社及び後援、共催、協賛団体の加盟各社も希望者は全員フォーラムの視聴を可能とした。

報告数は23件と昨年の16件から7件の増加となった（NHK発表が9、民放発表が14件）。内容は、番組制作・番組送出・システム開発、実証実験報告など多岐に渡り、大変興味深いものばかりであった。聴講者数については、2日間で延べ426人(前年419人)の接続があった。Teamsオンラインの同時接続数はピーク時において134人(前年134人)であった。会場の901会議室には最大で68人の参加があり、30～40人は常時参加している状況であった。

901会議室とオンラインのハイブリッド開催により、遠方からでも効率的な情報共有と意見交換の場を創出することができた。

(1) 研究開発発表

発表件数 23件（内訳 NHK9件、民放14件） ※前年16件（内訳 NHK 7件、民放 9件）

発表内容については、日頃の不便な点や問題点を解決した発表や、設備やシステムのIP化更新、生成AIを活用したのサービス開発等、創意工夫を凝らした報告が多かった。またメーカーに頼らず、内製で開発した報告も多かった。これら報告は放送サービスに関わる業務効率化とともに、新しいシステムやサービスを取り入れて、より一層の視聴者へのアプローチを強化しようとする意欲に満ちていた。

(2) 特別講演

特別講演は3件を企画した。

【特別講演①】 「気象予報はどのように作られているのか」
☒ いであ株式会社 情報システム事業本部 バイオクリマ事業部 青木 翔太 氏

【特別講演②】 「能登半島地震におけるKDDIのインフラ復旧及びStarlinkによる支援対応と活用事例」
 KDDIエンジニアリング株式会社 中部支社 副支社長 田辺 慎 氏
☒ KDDI株式会社 ビジネスデザイン本部 官公庁営業部 グループリーダー 藤井 洋平 氏

【特別講演③】 「ソニー×放送局様で 目指す IP/DX 次世代放送システム ―国内外のIP 化最新情報―」
☒ ソニーマーケティング株式会社 B2Bビジネス1部 ライブソリューション推進課 塚本 亮輔 氏

(3) 実機展示

NHK名古屋放送センタービルの902会議室で実機1件を展示し、展示説明をスマホで撮影しながらTeams配信した。

①人間的監視を比較監視で行うノールック監視システム

福井放送 宮下 良一 氏

(4) 来賓挨拶

総務省東海総合通信局 放送部長 中屋敷 安則 様

(5) 基調講演

「広域大規模災害を想定した放送サービスの維持・確保方策の充実・強化検討チームについて」

総務省 情報流通行政局 地上放送課長 坂入 倫之 様

(6) 支援、協賛、共催

共催：映像情報メディア学会東海・北陸支部

協賛：東海電波懇談会

協賛：東海受信環境クリーン協議会

協賛：北陸受信環境クリーン協議会

後援：情報通信月間推進協議会

後援：東海情報通信懇談会



第34回
中部放送技術フォーラム
5月14日(水)・15日(木)

■ 主催	中部放送技術フォーラム協議会
■ 共催	映像情報メディア学会東海・北陸支部
■ 協賛	東海電波懇談会
	東海受信環境クリーン協議会
	北陸受信環境クリーン協議会
■ 後援	情報通信月間推進協議会
	東海情報通信懇談会

広瀬 克典 一十

